

令和 7 年 3 月市議会定例会

病院事業局

議案説明資料

(当初予算分)

目 次

【予算案件】

1	令和 7 年度病院事業会計予算（案）総括表	1 頁
2	令和 7 年度病院事業会計予算（案）の主な事項	1 頁
3	令和 7 年度病院事業会計予算（案）	5 頁
4	医療器械整備事業について	7 頁
5	中央監視装置の更新について	9 頁
6	電子カルテ系ネットワーク機器の更新について	10 頁
7	病室の個室化及び環境改善について【新規】	11 頁
8	オンライン診療の導入について【新規】	12 頁
9	富山まちなか病院再整備基本計画の策定について	13 頁
10	電子カルテシステム等の更新について（債務負担行為）	14 頁
11	市民病院医事業務及び病院業務運用支援業務委託 について（債務負担行為）	15 頁

【条例案件】

12	富山市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について	16 頁
----	----------------------------	------

【予算案件】

1 令和7年度病院事業会計予算（案）総括表

（単位：千円）

		令和7年度 (A)	令和6年度 (B)	増 減 (A－B)	対前年度比 (A／B)
収益的 収支	病院事業収益	15,193,675	14,992,645	201,030	101.3%
	1 医業収益	13,761,604	13,671,375	90,229	100.7%
	2 医業外収益	1,432,061	1,321,260	110,801	108.4%
	3 特別利益	10	10	0	100.0%
	病院事業費	15,468,512	15,198,207	270,305	101.8%
	1 医業費用	15,137,340	14,877,607	259,733	101.7%
	2 医業外費用	330,872	320,300	10,572	103.3%
	3 予備費	300	300	0	100.0%
	差 引	▲ 274,837	▲ 205,562	▲ 69,275	
資本的 収支	資本的収入	1,440,696	1,382,146	58,550	104.2%
	資本的支出	2,094,406	1,969,164	125,242	106.4%
	差 引	▲ 653,710	▲ 587,018	▲ 66,692	

2 令和7年度病院事業会計予算（案）の主な事項

（1）患者数と診療単価、入院・外来収益

		市民病院	まちなか病院
一 日 平 均 入 院 患 者 数	R7	3 6 8 人	4 3 人
	R6	4 1 8 人	4 3 人
入 院 患 者 一 人 一 日 当 た り 診 療 単 価	R7	6 8, 0 0 4 円	3 6, 5 0 0 円
	R6	5 9, 3 7 4 円	3 4, 5 0 0 円
入 院 収 益	R7	9, 1 3 4, 3 1 7 千円	5 7 2, 8 6 7 千円
	R6	9, 0 5 8, 6 9 7 千円	5 4 1, 4 7 7 千円
一 日 平 均 外 来 患 者 数	R7	9 1 0 人	1 0 6 人
	R6	9 6 9 人	1 0 4 人
外 来 患 者 一 人 一 日 当 た り 診 療 単 価	R7	1 3, 3 3 1 円	1 4, 4 2 6 円
	R6	1 2, 8 7 2 円	1 5, 1 9 6 円
外 来 収 益	R7	2, 9 3 5, 6 6 8 千円	3 7 0, 0 4 9 千円
	R6	3, 0 3 0, 9 2 6 千円	3 8 2, 7 3 8 千円

※入院日数365日（前年度365日） 外来日数242日（前年度243日）

(2) 重点事項

- ① 経営改善計画に掲げる施策を着実に実行し、両病院において安定した経営を実現する。
- ② 地域医療を担う公立病院として、質の高い医療を提供するため、必要な医療資源を確保し、持続可能な医療提供体制の構築に努める。

(3) 主な取組事項

① 広報強化などを通じた両病院の認知度の向上

- (ア) 提供する医療サービスや特色、強みなどについて、より効率的かつ効果的な広報を実施するため、その指針となる広報戦略を策定
- (イ) 開業医等へ両病院の機能等の情報提供や症例検討会の開催のほか、広報誌の発行などを通じた地域の医療機関との連携強化等による新規入院患者の確保
- (ウ) 急性期医療を担う市民病院から回復期医療を担うまちなか病院地域包括ケア病床へのスムーズな転院によるシームレスな医療連携体制のアピール
- (エ) 医療のデジタル化の推進
 - ・地域のかかりつけ医との一層の連携強化を念頭に、医療画像等を共有するための情報システムの活用や将来的な医療機関の相互間における紹介状の授受に加え、予約や診療情報の共有に向けた検討
 - ・オンライン診療の導入

② 患者数の増加

- (ア) 患者受入等の強化
 - ・救急と病床管理部門との連携による「断らない救急」の継続
 - ・地域の医療機関からの積極的な患者の受入と、後方連携の強化
 - ・健診事業における、受診枠の拡大や二次検診からの入院患者の獲得

(イ) 医療の質の向上

- ・チーム医療の推進による安全で質の高い医療の提供
- ・医療スタッフへの研修の充実
- ・外来患者への定期的な画像診断や検査等による疾患の早期発見と速やかな治療の実現

(ウ) 患者満足度の向上

- ・病室の個室化と改修の計画的な実施による入院環境の改善
- ・オンライン診療の導入による通院負担の軽減

(エ) 新興感染症の感染拡大時等に備えた平時からの取組

- ・市民病院（第二種感染症指定医療機関）において、感染症病床の継続確保（6床）
- ・感染拡大時に備え、N95 マスクやアイソレーションガウン等の感染防護用診療材料等の備蓄継続
- ・市民病院とまちなか病院の両病院間における看護師の相互協力等柔軟に対応できる人員体制の維持

③ 収益性の改善

(ア) 収入増加の取組

- ・原価計算やD P C分析等による、現行の施設基準及び算定している診療報酬の継続的な検証と診療報酬改定に伴う新たな基準や加算等の取得

(イ) 支出削減の取組

- ・職員のコスト意識及び価格交渉力の向上
- ・両病院間の採用薬の統一化による後発医薬品の採用拡大及び医薬品の融通による有効活用並びに診療材料の包括購入の推進
- ・医療システムの更新等における全体最適化（標準パッケージの適用や更新時期の調整など）による費用の削減

④ まちなか病院の再整備の検討

令和6年度中に策定予定の「富山まちなか病院再整備基本構想」を基に、診療体制や施設の機能など、整備方針をより具体化し、基本計画として取りまとめる。

(4) 主な建設改良費 病院の施設整備及び医療器械等の整備

予算費目	概 要
施設工事費	① 老朽化した施設の更新 ・病室環境改善工事 等 合計 128,590千円
資産購入費	① 医療器械の購入 ・内視鏡手術用支援機器（手術支援ロボット） ・心血管撮影装置 ・3Dワークステーション 等 合計 723,279千円 ② 医療システムの更新及び備品の購入等 ・中央監視装置（更新） ・電子カルテ系ネットワーク機器（更新） 等 合計 446,351千円

3 令和7年度病院事業会計予算（案）

（1）収益的収入及び支出

科 目	R 7 年度 当初予算（案） (A)		
		市民病院	まちなか病院
病院事業収益	15,193,675	14,055,413	1,138,262
1 医業収益	13,761,604	12,708,925	1,052,679
(1)入院収益	9,707,184	9,134,317	572,867
(2)外来収益	3,305,717	2,935,668	370,049
(3)その他	748,703	638,940	109,763
2 医業外収益	1,432,061	1,346,478	85,583
(1)他会計補助金	449,505	406,386	43,119
(2)補助金	102,815	102,815	0
(3)他会計負担金	815,319	774,422	40,897
(4)長期前受金戻入	12,155	11,520	635
(5)その他	52,267	51,335	932
3 特別利益	10	10	0
病院事業費用	15,468,512	14,285,338	1,183,174
1 医業費用	15,137,340	13,971,251	1,166,089
(1)給与費	8,192,609	7,574,471	618,138
(2)材料費	3,043,355	2,895,353	148,002
(3)経費	3,025,618	2,686,021	339,597
(4)減価償却費	806,186	750,171	56,015
(5)その他	69,572	65,235	4,337
2 医業外費用	330,872	313,787	17,085
(1)支払利息及び企業債取扱諸費	28,917	24,941	3,976
(2)その他	301,955	288,846	13,109
3 予備費	300	300	0
差 引	▲ 274,837	▲ 229,925	▲ 44,912

（2）資本的収入及び支出

科 目	R 7 年度 当初予算（案） (C)		
		市民病院	まちなか病院
資本的収入	1,440,696	1,425,289	15,407
1 企業債	1,201,400	1,186,600	14,800
2 出資金	160,893	160,286	607
3 県補助金	78,393	78,393	0
4 寄附金	10	10	0
資本的支出	2,094,406	2,050,221	44,185
1 建設改良費	1,298,220	1,283,074	15,146
(1)施設工事費	128,590	128,590	0
(2)資産購入費	1,169,630	1,154,484	15,146
2 企業債償還金	796,186	767,147	29,039
差 引	▲ 653,710	▲ 624,932	▲ 28,778

(単位：千円)

R 6 年度 当初予算 (B)	市民病院	まちなか病院	増 減 (A - B)	対前年度比 (A/B)	備 考
14,992,645	13,902,983	1,089,662	201,030	101.3%	
13,671,375	12,657,731	1,013,644	90,229	100.7%	
9,600,174	9,058,697	541,477	107,010	101.1%	
3,413,664	3,030,926	382,738	▲ 107,947	96.8%	
657,537	568,108	89,429	91,166	113.9%	一般会計負担金、室料差額収益等
1,321,260	1,245,242	76,018	110,801	108.4%	
432,779	390,611	42,168	16,726	103.9%	一般会計補助金
24,505	24,505	0	78,310	419.6%	県補助金
787,611	755,148	32,463	27,708	103.5%	一般会計負担金
21,744	21,109	635	▲ 9,589	55.9%	
54,621	53,869	752	▲ 2,354	95.7%	施設使用料等
10	10	0	0	100.0%	
15,198,207	14,068,202	1,130,005	270,305	101.8%	【市民病院】
14,877,607	13,791,144	1,086,463	259,733	101.7%	職員数745人(うち再任用13人)
7,996,715	7,394,513	602,202	195,894	102.4%	【まちなか病院】
3,092,964	2,929,016	163,948	▲ 49,609	98.4%	職員数48人(うち再任用0人)
2,906,326	2,609,277	297,049	119,292	104.1%	
812,757	793,532	19,225	▲ 6,571	99.2%	建物・器械備品等の償却
68,845	64,806	4,039	727	101.1%	研究研修費等
320,300	276,758	43,542	10,572	103.3%	
21,878	21,404	474	7,039	132.2%	
298,422	255,354	43,068	3,533	101.2%	雑損失等
300	300	0	0	100.0%	
▲ 205,562	▲ 165,219	▲ 40,343	▲ 69,275		

(単位：千円)

R 6 年度 当初予算 (D)	市民病院	まちなか病院	増 減 (C - D)	対前年度比 (C/D)	備 考
1,382,146	1,054,589	327,557	58,550	104.2%	
1,199,500	877,700	321,800	1,900	100.2%	施設工事債、資産購入債
182,636	176,879	5,757	▲ 21,743	88.1%	一般会計出資金
0	0	0	78,393	-	
10	10	0	0	100.0%	
1,969,164	1,615,854	353,310	125,242	106.4%	
1,209,254	886,758	322,496	88,966	107.4%	
27,632	27,632	0	100,958	465.4%	病室環境改善工事等
1,181,622	859,126	322,496	▲ 11,992	99.0%	内視鏡手術用支援機器(手術支援ロボット)、中央監視装置等
759,910	729,096	30,814	36,276	104.8%	
▲ 587,018	▲ 561,265	▲ 25,753	▲ 66,692		不足額は内部留保資金で補填

4 医療器械整備事業について

[契約出納課、総務医事課]

- (1) 予算額 723,279千円
- | | | |
|------|-----|-----------|
| 財源内訳 | 企業債 | 723,200千円 |
| | その他 | 79千円 |

(2) 事業目的

市民病院は高度急性期医療を提供する二次救急医療機関として、また、まちなか病院は急性期病院の後方連携病院として医療提供体制の充実を図ることで、地域医療を守り、必要な診療を継続するため、医療器械の整備を行うもの。

(3) 導入する主な医療器械

ア 市民病院

(単位：千円)

所属	医療器械名	予算額
外科等	内視鏡手術用支援機器（手術支援ロボット）一式	421,995
放射線技術科	心血管撮影装置	250,000
放射線技術科	3Dワークステーション	22,000

イ まちなか病院

(単位：千円)

所属	医療器械名	予算額
眼科	手持ちスリットランプ	600

(4) 医療器械の概要

ア 内視鏡手術用支援機器（手術支援ロボット）一式【新規】

外科、呼吸器・血管外科、泌尿器科、産婦人科の手術で使用する機器。

日本では、平成24年4月にロボット手術が初めて保険収載されて以降、対象となる手術は拡大している。

患者にとっては術後の回復が早く、臓器や神経等機能の温存が可能であり、QOLの向上に繋がる。また、手術支援ロボットを用いた症例に関わることで得られる臨床経験は、キャリア形成における専門性とスキルの向上に寄与することから、若手医師や研修医の確保に当たっても有効である。

近年、県内の病院においても導入が進み、患者の認知度も高まり、ロボット手術を受けることのできる病院を希望する患者が増えていることから導入するもの。

外科領域用手術支援ロボットの保険適用の推移（ダビンチの場合）



年月	保険適用となった分野
平成 24 年 4 月	前立腺がん
平成 28 年 11 月	腎がん
平成 30 年 4 月	腹腔鏡手術と同等の有効性や安全性があるとして、肺がん、食道がん、胃がん、直腸がん、膀胱がん、子宮体がん、子宮筋腫等を一気に保険適用
令和 3 年 10 月	膵がん
令和 4 年 6 月	結腸がん

イ 心血管撮影装置【更新】

主に狭心症や心筋梗塞等の虚血性心疾患の患者を対象に循環器内科領域で使用する器械。心臓の血管の状態や心臓の動きをリアルタイムに観察し、診断や治療を行う。

平成 25 年度に購入した現有機は稼働から 11 年を経過し、修理部品等の供給が令和 7 年度末で終了することから更新するもの。



ウ 3Dワークステーション【更新】

CTで撮影した、脳、心臓、全身の血管、大腸等の断層画像から3D画像を描出・解析を行う画像解析システム。

医師が治療方針を迅速に決定し、より精度の高い手術計画の策定や術前シミュレーションを実施するために使用する。

平成 30 年度に購入した現有機は稼働から 6 年を経過し、メーカーによる修理部品等の供給が令和 7 年 6 月に終了することから更新するもの。



5 中央監視装置の更新について

[契約出納課]

- (1) 予算額 112,200千円
〔財源内訳 企業債 112,200千円〕

(2) 事業目的

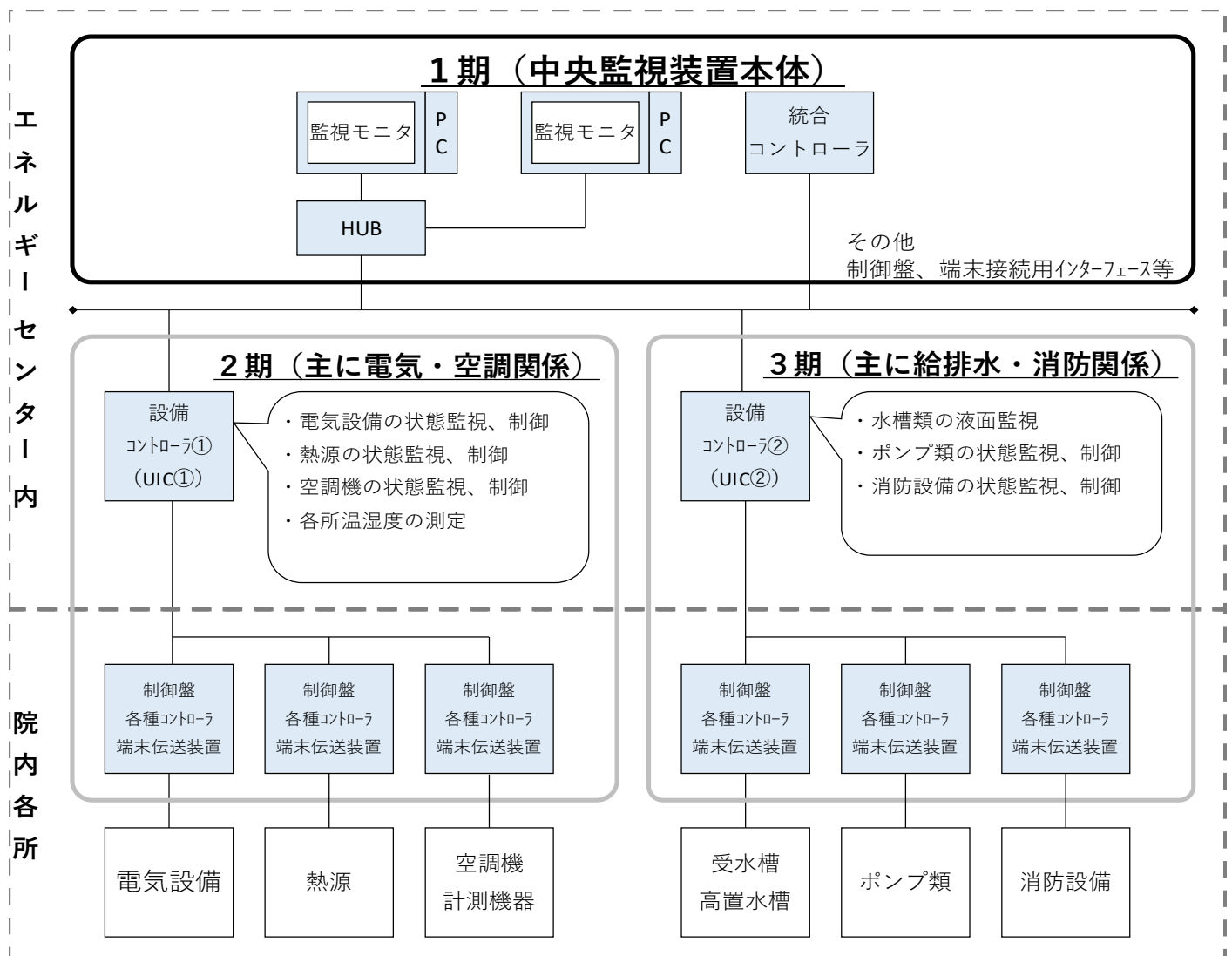
院内の各種設備（電気、空調、給排水、消防等）の監視や運転制御を行う中央監視装置を更新し、各種設備の適切な維持管理を図るもの。

(3) 概要

現在の中央監視装置は平成13年度の更新から24年を経過し、監視用モニタ画面の不具合や各種コントローラ部品の故障等が発生するなど、老朽化が顕著になっている。

中央監視装置の更新は3か年計画で行うものとし、令和7年度は中央監視装置本体、令和8年度以降、電気・空調関係設備と給排水・消防関係設備を更新するもの。

(4) 概略図



6 電子カルテ系ネットワーク機器の更新について

[経営管理課]

(1) 予算額		58,784千円	
(財源内訳	企業債	58,700千円	)
	その他	84千円	

(2) 事業目的

市民病院においては、セキュリティ対策として、インターネットやメールを使用するための事務系ネットワーク及び電子カルテを使用するための電子カルテ系ネットワークの2系統のネットワークを保有している。電子カルテ系ネットワークを構成する機器について、更新後10年以上経過し、メーカーサポートが終了しているものもあることから、機器の更新を行うもの。

(3) 事業概要

電子カルテ系ネットワーク機器の更新は3か年計画で行うものとし、令和7年度については、電子カルテ系ネットワーク全体のデータの送受信を管理・制御しているセンタースイッチ及び病院内の医療情報を取り扱う各システムのサーバのデータの送受信を管理・制御しているサーバスイッチを更新するもの。

(4) スケジュール

令和7年7月～12月	関連機器調達、ネットワーク設計
令和8年1月	機器設置、切替作業

7 病室の個室化及び環境改善について【新規】

[経営管理課、契約出納課]

(1) 予算額 137,590千円

財源内訳	県補助金	78,393千円
	企業債	39,100千円
	医業収益	20,097千円

(2) 事業目的

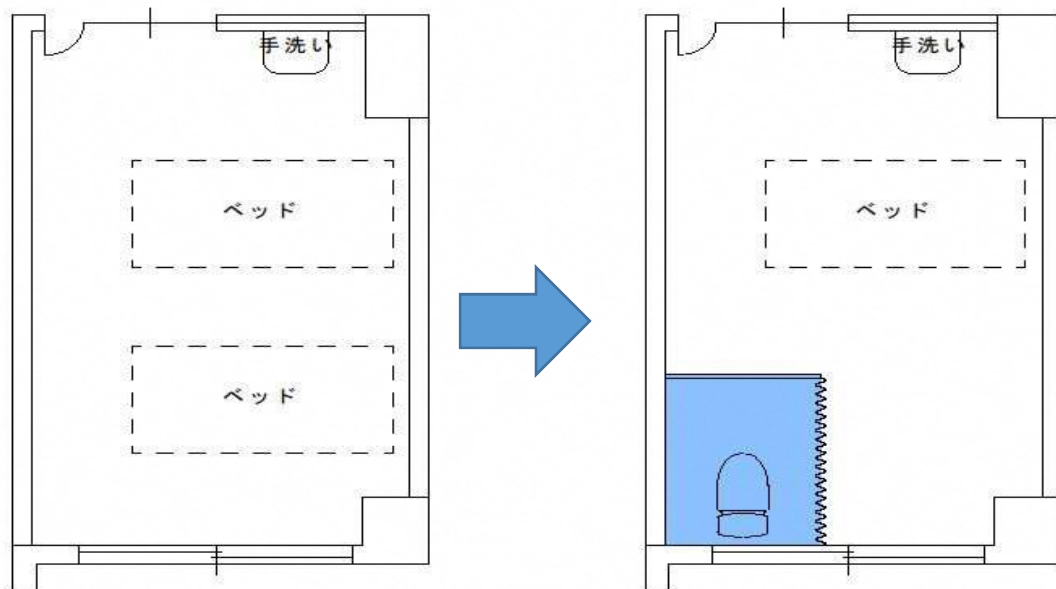
コロナ禍以降も新興感染症に対応する医療提供体制の整備が求められていることや、患者ニーズに応えるため、新たにトイレ付個室を整備するとともに、特別室などを改修することで、環境改善を図るもの。

(3) 事業内容

東5病棟、東7病棟、東8病棟において、合計19室ある2人部屋にトイレを新たに設置し個室化するとともに、クロスの張替えや手洗いを更新する。なお、西3～西7病棟の2人部屋27室については、令和8年度以降に更新予定。

特別室Aの4室について、利用頻度の低いバスタブを廃止し、シャワー室を設置するとともに、クロスの張替えや手洗いを更新する。

※2人床の病室個室化イメージ



8 オンライン診療の導入について【新規】

[経営管理課]

(1) 予算額 1, 3 9 6 千円

〔財源内訳 医業収益 1, 3 9 6 千円 〕

(2) 事業目的

市民病院の外来診療において、移動負担の軽減や治療中断の防止を図るため、オンライン診療を導入するもの。令和7年度は、腎臓内科において、高血圧や慢性腎臓病等により市民病院に通院している再診患者を対象に先行実施する。

(3) 事業概要

内科の外来診察室の一室にWEBカメラや専用パソコン等を設置するとともに、オンライン診療専用の予約枠を設け、再診患者を対象にオンライン診療を実施する。

(4) スケジュール

令和7年7月～8月 システム構築

令和7年9月 職員操作研修の実施

令和7年10月 オンライン診療開始

9 富山まちなか病院再整備基本計画の策定について

[総務医事課]

- (1) 予算額 15,000千円
〔財源内訳 医業収益 15,000千円〕

(2) 事業目的

富山まちなか病院の再整備に関する基本的な考え方を取りまとめた「富山まちなか病院再整備等基本構想（令和7年3月策定予定）」の策定を受けて、再整備の次のステップとなる基本設計や実施設計へと進めるため、各診療部門の機能や配置、その他設計要件など、より具体的な整備方針を示した基本計画を策定するもの。

（再整備までの工程）

基本構想 (R6)	どのような病院にするのかなど、新病院の基本理念や方針を定め、機能、規模、場所、工程、など、基本計画策定に向けた検討を行う段階。
基本計画 (R7)	基本構想を受けて、診療部門等の機能や配置、平面と空間構成、面積、機能、デザインなど完成時の姿を明確にし、概算事業費等の検討を行う段階。
基本設計 (R8 予定)	基本計画を踏まえ、配置、平面と空間構成、面積、機能、デザインなど完成時の姿を明確にし、「基本設計図書」を作成する段階。
実施設計 (R9 予定)	基本設計図書に基づいて、デザインと技術面の両面にわたって詳細な設計を進め、工事の実施に必要で十分な「実施設計図書」を作成する段階。

(3) 事業内容

- ア 委託期間 令和7年6月1日から令和8年3月31日
イ 委託内容 富山まちなか病院再整備基本計画（案）の作成
内部検討委員会の運営支援

(4) スケジュール

- 令和7年5月まで 本業務の受託業者選定、契約締結
令和7年6月～令和8年3月 基本計画の検討、策定

10 電子カルテシステム等の更新について

[経営管理課]

(1) 事業目的

市民病院で使用している電子カルテシステム、医事会計システム等の医療情報システムについて、令和8年度末で導入から8年が経過し、ハードウェアの保守サポートが終了することなどから、該当するシステム一式を更新するにあたり、債務負担行為を設定するもの。

(2) 事業内容

ア 委託期間 令和7年9月1日から令和9年3月31日まで

イ 委託内容 電子カルテシステム等医療情報システムの更新業務

- ・パッケージシステム及びシステム用機器の調達、システムの構築
- ・操作説明会等の職員研修

システム名	概要	更新費用
電子カルテシステム	医師が作成する診療記録を電子化し、保存・管理するシステム	823,590 千円
医事会計システム	診療報酬の算定やチェックなどのレセプト業務を自動化するシステム。	
部門システム等 (看護管理システム、栄養(給食管理)システム、健診システム等)	看護部や栄養科など各部門で使用する業務システム。更新対象外の部門システムと電子カルテシステムの接続費用含む。	106,729 千円

(3) スケジュール

令和7年8月まで	本業務の受託業者選定、契約締結
令和7年9月～令和9年1月	関連機器の調達、システム構築、職員研修等
令和9年2月	新電子カルテシステムの稼働

(4) 債務負担行為

期 間	限 度 額
令和7年度～令和8年度	930,319千円
(財源内訳 企業債 930,300千円 その他 19千円)	

11 市民病院医事業務及び病院業務運用支援業務委託について

[医事課]

(1) 事業目的

診療報酬請求その他の医事業務は、患者サービスの向上を図るとともに、診療報酬等請求を適正かつ効率的に遂行し、収益の確保を図るため、専門知識、経験及び実績を有する者に委託している。令和7年10月以降の委託業者について、3年間の業務を受託する事業者を選定するにあたり、債務負担行為を設定するもの。

(2) 事業内容

ア 委託期間 令和7年10月1日から令和10年9月30日まで

イ 委託内容

①医事業務	⑥交通事故、労災保険事務業務
②病棟事務業務	⑦診療情報管理業務
③文書窓口業務	⑧地域医療連携室業務
④救急センター受付業務	⑨健康管理科業務
⑤手術室クラーク業務	

ウ 1年当たりの内訳

月額 16,780,150 円×12 か月×1.1（消費税）＝221,497,980 円

(3) スケジュール

令和7年5～6月 指名競争入札執行、契約締結

令和7年7～9月 委託事業者の業務引継ぎ期間

令和7年10月 業務開始

(4) 債務負担行為

期 間	限 度 額
令和7年度～令和10年度	664,494千円

〔 財源内訳 医業収益 664,494千円 〕

12 富山市病院事業の設置等に関する条例の一部改正について

[医事課]

(1) 改正の趣旨

コロナ禍以降も新興感染症に対応する医療提供体制の整備（個室病床の確保）が求められていることや、近年、個室を希望する患者ニーズが高まっていることから、既存の２人室等を改修し個室化を実施する。

加えて、個室の室料差額については、平成７年度以降料金を据え置いていることから、室料差額を改定し、医業収益の改善を図るもの。

また、人間ドックについて、新規コースの追加等を行うもの。

(2) 改正の内容

ア 個室料金（室料差額）の引き上げ (円)

区分	現行		改正後(R8.1.1)		改定額
	病床数	金額	病床数	金額	
特別室 A	4	11,000	4	13,000	2,000
特別室 B	9	5,500	9	6,500	1,000
個室 A			19	5,500	-
個室 B	42	3,500	42	4,000	500
２人室 A	54	2,000	26	2,200	200
２人室 B	42	1,000	36	1,100	100
計	151		136		

施行期日：令和８年１月１日

イ 人間ドックのコースの追加等 (円)

現行	金額		改正後	金額	区分
			膀胱がんドック使用料	79,670	新規
			ロックスインデックス検査料	13,000	新規
脳ドック使用料 A	19,000	⇒	脳ドック使用料	25,000	変更
脳ドック使用料 B	25,000				
血管ドック使用料	30,970				廃止

施行期日：令和７年４月１日